

【所属名：文化振興課】

【会議名： 第1回糸魚川市文化財保護審議会】

## 会 議 録

作成日 平成29年7月7日

日	平成29年7月6日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	本庁201会議室
件名	協議(1) 正・副会長の選任について(公開) 報告(1) 平成29年度の文化財関係事業について(公開) 報告(2) 県史跡 相馬御風宅復原工事等について(公開) 報告(3) 親しらず整備基本計画の策定について(公開) 報告(4) 埋蔵文化財の調査について(公開) 報告 その他(来海沢地区所有の古文書について)(公開) 議題(1) 駅北大火による指定文化財の被災状況とその対応について(公開) 議題(2) 専門委員会の委員について(公開) その他(公開)				
出席者	【出席者】 7人 吉田会長、井伊副会長、五十嵐委員、吉倉委員、小掠委員、池亀委員、佐藤委員 【欠席者】 3人 野紫木委員、小川委員、室川委員 【事務局】 6人 田原教育長 文化振興課 磯野課長 木島補佐 山岸学芸専門員 高津主査 小池主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	人

### 会議要旨

#### 1 開会(13:30)

【事務局】 田原教育長あいさつ

大火後6ヶ月、被災者の方の元気と復興のため、文化芸術が非常に役立つと考えている。心身の健康につながる文化・スポーツの大切さを感じている。そういった意味でこの審議会の意義は大きい。積極的な発言をいただきたい。

#### 2 協議

(1) 正・副会長の選任について

立候補者なし。

【事務局】 事務局案として、会長に吉田委員、副会長に井伊委員を提案。

【出席者】 承認

### 3 報告

#### (1) 平成 29 年度の文化財関係事業について

【事務局】資料No.1 について説明。

【委員】能生の歴民の屋根に生えた木は、どうなっているか。

【事務局】春に一回伐採処理したが、現在また茅が伸びているため、後日もう一度処理を予定。

#### (2) 県史跡 相馬御風宅復原工事等について

【事務局】資料No.2 について説明。

【出席者】質疑なし

#### (3) 親しらず整備基本計画の策定について

【事務局】資料No.3 について説明。

【委員】国指定と県指定の範囲の違いについて説明してほしい。

【事務局】県指定は風波という国道がヘアピン状にカーブしているところから、市振までと海岸の汀から沖へ1Kmの範囲。たいへん広い区域となっている。国指定はお配りした資料の赤い線で囲まれた部分。

【委員】「親しらず」という呼び方は、もう決まっているものでどうこうできないのか。違和感がある。

【事務局】指定時に芭蕉の『おくのほそ道』に出てくる標記でそのまま指定している。

【委員】緑の線で記載されている遊歩道の新設はできたらいい。

【事務局】今後策定委員会で検討していただくこととなるため、第 2 回目の審議会では、内容をお伝えできると思う。

#### (4) 埋蔵文化財の調査について

【事務局】資料No.4-1～3 について説明。

【委員】毘沙門堂とこの現場の位置関係を説明してほしい。6/17 の現地説明会で何か質問ができたか。

【事務局】毘沙門岩のところは、市が指定する山口関所跡。今回の発掘現場とは道を挟んで反対側となっている。関所跡を見つけることは平成 5 年からの懸案事項となっていて、松本街道の関連遺跡としては非常に重要。今後番所本体の遺構を見つけることが課題。

【委員】将来的な活用は。

【事務局】遺構ごとに舗装の色を変えて表示するなど考えられる。

【委員】この図のどこが水路か位置を教えてください。

【事務局】図の中で細い線で描かれているのが水路。今回のような開発では、10mはばで掘り割っていくため、住居跡が直径 5m くらいなので、これが壊れてしまうということがあるので、調査したもの。今回は、遺物 2,3 点が出たのみで本調査は不要と考えている。

【委員】この遺跡は面積規模は長者ヶ原と比べてそんなに大きくないのか。

【事務局】面積規模は長者ヶ原ほど大きくないが、台地の上の遺跡では市内では大きい方。蟬の形をした遺物が出ていて有名。前に上野の科学館のヒスイ展で、地元の人がここから出た半分に割れたヒスイの大珠を出展したこともある。

【事務局】資料No.4-4 について説明。

駅北大火の発掘調査について、追加説明。

【出席者】質疑なし

#### (5) その他

【事務局】来海沢所有の資料について説明。市民から指定文化財にならないかと当課に持ち込まれたもの。文政の文書で、日吉社の正一位授与の記録。

【委員】自分でも文献を調べたが、この位を授与するため、文政4～5年に上京し、高田の関係神社にすべて話をつけて、小判約50両くらい使っている。今で言うと500万円くらいかと予想するが、かなりお金を使っている。

【委員】(資料を)持ち込んだのは宮司さんか。

【事務局】郷土研究者。上越市の花ヶ寄先生にも相談したが、明治の終わりの文書で新しいことや、多く出回っているものなので指定は難しいのではという意見だった。江戸後期に吉田家は正一位を乱発し、調べたところ福井県では27社が正一位を受けている。新潟県はもっと神社の数が多いので、もっと多いのではないかと推測する。

～休憩～

### 3 議題

#### (1) 駅北大火による指定文化財の被災状況とその対応について

【事務局】市指定刀(銘:越後糸魚川住北辰子弘繁作)の被災状況について説明。

【出席者】現物を確認

【委員】事務局の意見としてはどうか。

【事務局】この状況では工芸品としての指定は難しいのではないかと。

【委員】それでは、指定を解除するという事か。

【事務局】大火の記憶をつなぐ大切な資料で、所有者は市に寄贈することを希望している。市で預かり、大火の記憶をつなぐ資料として、歴民等で活用することも考えている。

【委員】工芸品としては、指定解除ということでよいのではないかと。

【委員】最近の指定解除の例は。

【事務局】街道の松。滅失したため、解除となった。

【吉田会長】市では大火資料としての活用も考えているそうだが、工芸品として指定解除するという事でよろしいか。

【委員】指定解除してしまうと、こういう文化財があったことがどこにも記録に残らなくなるのはさみしい。

【出席者】指定解除について承認。

#### (2) 専門委員会の委員について

【事務局】資料No.6について説明。

【委員】事務局案は。

【事務局】フォッサマグナパークは吉田会長に、親しらずは井伊副会長にお願いしたい。

【出席者】承認

### 4 その他

【事務局】小滝川の白濁について、資料を用いて説明。

【委員】小滝川は大雨でも茶色にはならない川。でも地元の人が白いと言うということは、何かあったのか・・・。

【委員】因果関係わかっているのか。

【事務局】現在調査中。ヘリを飛ばして調査をする予定があるので、何かわかるかもしれない。

5 閉会（15：30）





